

# 国際協力や青少年の育成のために 県内11箇所と大牟田市で 総勢606名が年末街頭募金活動



YMCAは、すべての人々が国や民族、宗教などの違いを認め合い、平和にそしていきいきと暮らすことができる社会をつくり出すことを願い、募金活動を展開しています。熊本YMCAでは、毎年11月から翌年1月まで、年末募金への協力を呼びかけています。

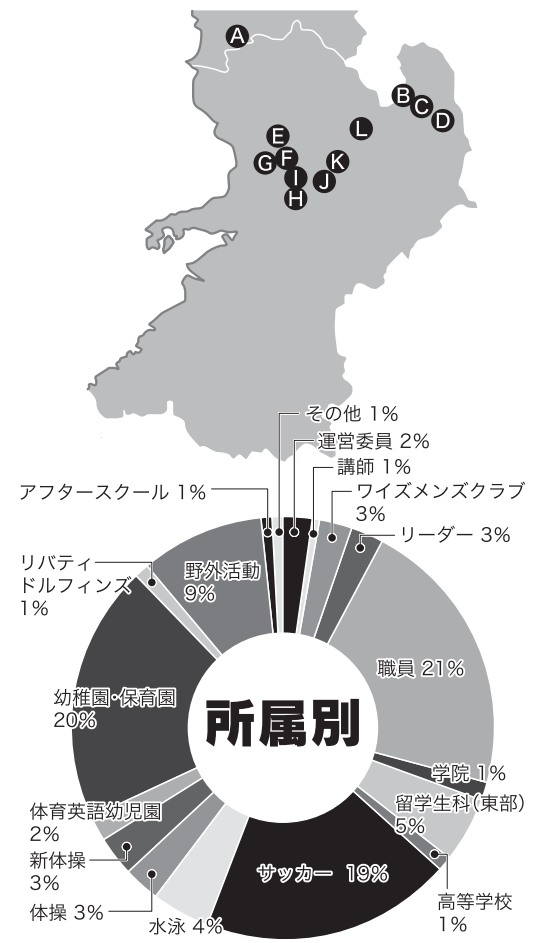
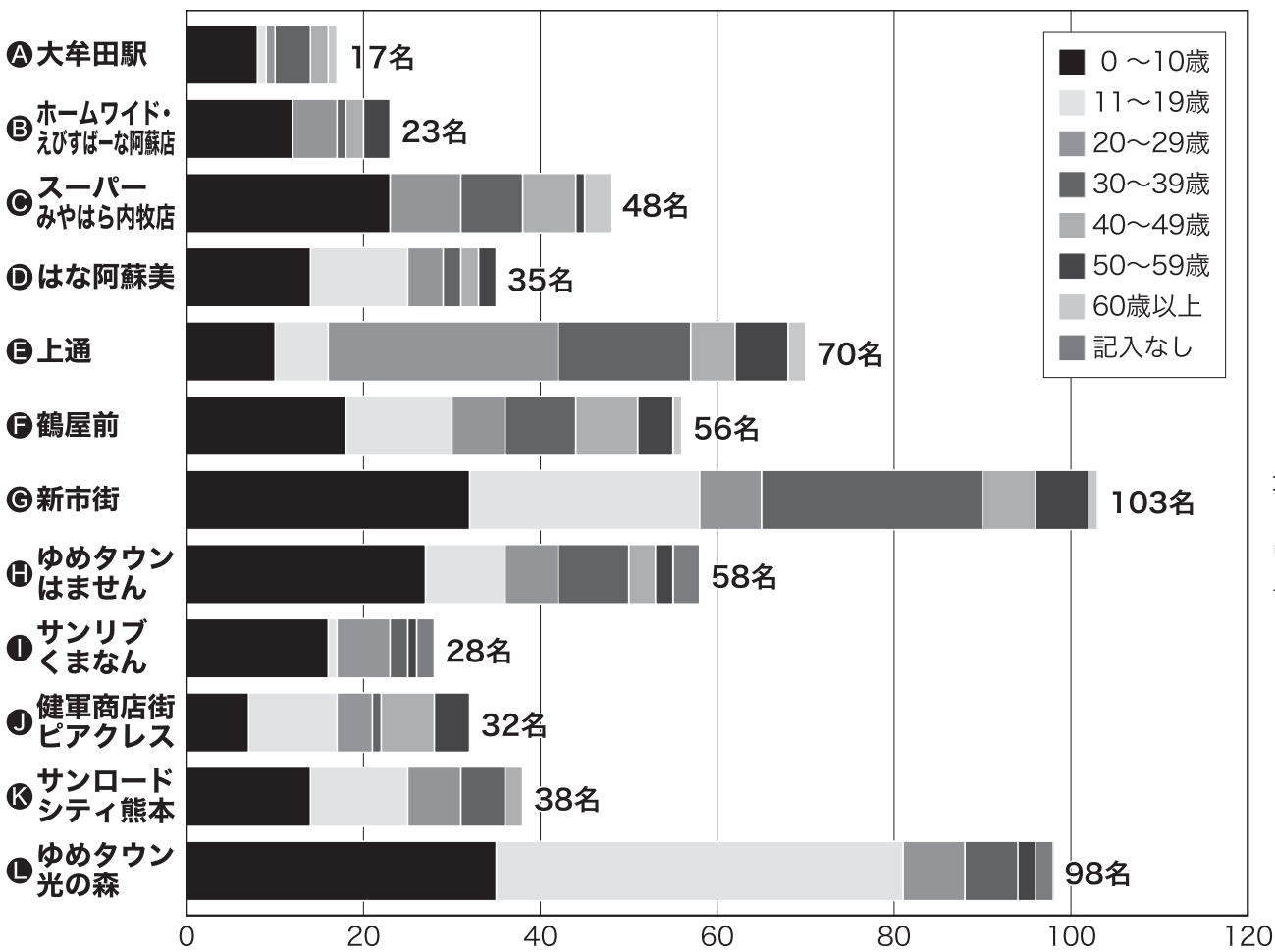
この一環として、12月6日(日)、20日(日)に熊本県内11カ所で街頭募金活動を行いました。また、12日(土)には、熊本YMCAが指定管理者として運営する「リフレスおおむた」のボランティアを中心に大牟田駅でも募金活動を実施。YMCAのプログラムに参加するメンバーや専門学校の学生・高等学校の生徒、幼稚園や保育園の園児、YMCAの活動を支える運営委員など、幅広い年代の総勢606名が募金への協力を呼びかけ、593,986円の募金が集まりました。



目標額740万円に対し、12月19日現在、

## 5,632,504円

が寄せられています。集まった募金は皆さまのあたたかい思いと共に、世界の様々な「人を育てる」活動のために届けられ役立てられます。引き続きご協力よろしくお願いいたします。



## 熊本YMCA学院に 高等課程が開設

2010年4月、熊本YMCA学院に高等課程が開設されます。学科名は「表現・コミュニケーション学科」で、中学校卒業の発達障がいのある、または傾向のある生徒や不登校の生徒等が対象です。

2007年に公教育の現場で特別支援教育が制度化され、これまで学校教育の狭間にいた子どもたちに支援の光が当たるようになりました。その結果、特別支援学級に在籍する生徒数や通常学級に籍を置き通級する生徒数が増加しました。小中学校では特別支援教育コーディネーターの配置など支援体制が充実してきましたが、現実的には学校間での温度差があるのが実情です。また、中学校を卒業した後の進学先である高等学校をみるとまだまだ十分な支援体制とは言えないようです。

熊本YMCAは1997年より発達障がいのある、または傾向のある子どもたちの支援活動を始め、2010年に14年目を迎えます。2006年には単位制・通信制高等学校のサポート校を開設し、様々な課題を持つ生徒たちを受け入れてきました。このような経験の中で、これまでの活動の経験を活かし、中学校を卒業する生徒の皆さんの「もう一つの学びの場」/居場所として高等課程設置に至りました。

一人ひとりの生徒が神様からいただいた「賜物」を活かし、自尊心を育み、卒業後の自立への支援に力を注ぎたいと思います。  
YMCA学院高等学校 中島 修